

5つのステージ全体像

1 思考空間と物理空間を整理整頓する

- ・この世界のほとんどが無駄で出来ていることを認識する
- ・惰性で行なっている習慣をやめる
- ・判断基準は3年後の自分を想像した時にどうなっているかを考えること

2 感情面のエラーを認識して信じる力を上げる

- ・自分への理解度を上げて、他者との違いを認識する
- ・自己受容、他者信頼、他者貢献
- ・オーディオ学習によって既に結果を出している人の空気感を獲得する

3 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

- ・行動の最大の報酬は次の行動の選択肢が狭まること
- ・失敗の扱い方を正しく認識し、楽観的な現実主義になる

4 100万回思考で参入するジャンルを決める

- ・実績がなくても、「これからのあなた」は今から作り上げられる
- ・ゴールはセールスじゃないことを認識する
- ・100人組み手ではなく、1人を相手にしてコミュニケーションをする

5 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパクリ

- ・新しいものは「0」から生み出されない
- ・人は感情で行動を起こし、理屈でそれを正当化することを認識する
- ・過去の賢者を信じてパクリ、数字を見て観察し修正する

5つのステージで何をしたいのか・・・

手っ取り早く成功する「**方法**」ではなくて、
手っ取り早く成功する「**状態**」を整える。

【方法】

てだて。特に、ある目的を達するための、計画的な操作。

【状態】

事物が、その時にそうなっている、ありさま。特に、外面からでもそれとわかる様子。

5つのステージで何をしたいのか・・・

「外面からでもそれとわかる様子」・・・これが重要。

例えば、多くの方は「実績」にこだわる。

でも「実績」は1つの信頼の要素でしかない、しかもネットビジネス初心者は「実績」がない。嘘についてOK？ 過大に言ってOK？

でも、「状態＝外面からでもそれとわかる様子」が整えば、「熱量」で信頼を獲得することが出来る。前のめりに進んでいる様子、明らかに普通とは違う習慣、パッション、野望、理想。

その結果、読者は「こんだけやってる人が成功してない訳ないよね」と思う。勝手に解釈してくれる。

5つのステージで何をしたいのか・・・

前のめりに進んでいるという他の誰にも作れない「圧倒的な証拠」が重要。



5つのステージを理解して、
「状態」を整えることで、この証拠を作り出していく。

5つのステージで何をしたいのか・・・

僕が提唱するネットビジネスで成功する状態

プロのアスリートのようにタスクをこなす
研究者のように仮説検証し
家族のように相手の理解者となる

プロのアスリートのようにタスクをこなす→自己コントロール
研究者のように仮説検証する→自己コントロール、ビジネス(情報発信)
家族のように相手の理解者となる→文章、ビジネス(セールス)

5つのステージで何をしたいのか・・・

僕が提唱するネットビジネスで成功する状態

プロのアスリートのようにタスクをこなす
研究者のように仮説検証し
家族のように相手の理解者となる

プロのアスリートのようにタスクをこなす
そして、研究者のように自分を観察する

**必要なのは
自分をコントロールするという視点**

自分をコントロールして状態を整えようという視点がある場合、ない場合

例:ない場合



- 自分は責任逃れをして他者へ責任を押し付ける
- 「状態」ではなく「方法」に依存する
- 単発的な一発逆転思考で頭がいっぱいになる
- 本能的な刺激(ステータス、SEX、睡眠)などに振り回される
- 感情と上手く付き合えずに、自分ではコントロール出来ない他者を変えようとしてしまう
- 上手いいかない場合に、すぐ「方法」を変えてチャレンジをしようとする
- 失敗が続くと勇気が持てなくなり、旅に出ることが出来なくなってしまう

自分をコントロールして状態を整えようという視点がある場合、ない場合

例:ある場合



- 全ての責任が自分にあることを自覚できる
- 「方法」に依存せず、「方法」を信頼することが出来る
- 長期的な思考になり、一発逆転的な宣伝には振り回されない
- 本能的な刺激(ステータス、SEX、睡眠)と上手く付き合える
- 自分ではコントロール出来ない他者を受け入れ、自分を変える視点を持てる
- 上手くいかない場合でも、自分に目を向けて「状態」を整えることが出来る
- 失敗が続いても勇気を持って前に進むことが出来る

プロのアスリートのようにタスクをこなす

<Question>

プロのスポーツ選手・・・例えば、本田圭佑選手がビジネスをするとして(まあしてるんですけどね)、あれだけストイックな姿勢で自分に厳しい人がビジネスをして成功しないと思いますか？

当然失敗だってすると思いますが、何度もチャレンジをして必ず成功するはず。

ビジネスで月収7桁とか稼ぐ程度であれば、日本人のサッカー選手としてイタリアリーグの第一線でプレイするよりも厳しくはないですからね。



プロのアスリートのようにタスクをこなす

じゃあ、彼らがどのように練習をしているのかというと…
人それぞれではありますが、「集中力」がキーワード。

長い時間練習したからと言って、必ずしも良いわけではない。
疲れた中で練習をしたら逆にフォームが崩れてしまうということもある。

しかも！

プロのアスリートはその競技だけのことを考えてればいい。
でも、僕たちは最初に副業としてビジネスに取り掛かる。

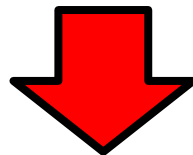
だからこそ、僕たちの方がかなり厳しい環境にあることを自覚する。

⇒限られた時間の中でベストなパフォーマンスをしなければいけない。

「時間」じゃない、「状態」。時間内で最高のパフォーマンスが出来る「状態」を毎日作る。
その結果、集中力を上げてタスクに取り組むことが出来る。

プロのアスリートのようにタスクをこなす

じゃあ、限られた時間内で最高のパフォーマンスが出来る「状態」って…？



5つのステージを理解する

1 思考空間と物理空間を整理整頓する

- ・この世界のほとんどが無駄で出来ていることを認識する
- ・惰性で行なっている習慣をやめる
- ・判断基準は3年後の自分を想像した時にどうなっているかを考えること

2 感情面のエラーを認識して信じる力を上げる

- ・自分への理解度を上げて、他者との違いを認識する
- ・自己受容、他者信頼、他者貢献
- ・オーディオ学習によって既に結果を出している人の空気感を獲得する

3 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

- ・行動の最大の報酬は次の行動の選択肢が狭まること
- ・失敗の扱い方を正しく認識し、楽観的な現実主義になる

4 100万回思考で参入するジャンルを決める

- ・実績がなくても、「これからのあなた」は今から作り上げられる
- ・ゴールはセールスじゃないことを認識する
- ・100人組み手ではなく、1人を相手にしてコミュニケーションをする

5 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパクリ

- ・新しいものは「0」から生み出されない
- ・人は感情で行動を起こし、理屈でそれを正当化することを認識する
- ・過去の賢者を信じてパクリ、数字を見て観察し修正する

研究者のように仮説検証をする

- どうしたら悪い習慣を捨てて、理想の未来を得られるのか・・・
- どうしたら誘惑に打ち勝つ強さを身につけられるのか・・・
- どうしたらストレスと上手に付き合えるのか・・・

自分の人生の中で仮説検証して、何度も何度もチャレンジをする。

このチャレンジが自分の「体験」になり、それが前のめりに進んでいる姿となって読者に情報を発信することが出来る。

圧倒的なオリジナリティであり、圧倒的な信頼性を生む。

「実績」だけを公開していたら楽ですよ。でも、それは単なる数字という「結果」でしかなくて、**僕たちはそれよりも「過程」を重要視する。**

研究者のように仮説検証をする

じゃあ、自分自身を仮説検証するために・・・まずは「自分がどう失敗するのか」を認識する。

失敗するパターンが分かれば、それを回避するような習慣や思考を用意してあげれば失敗をしない方へ進むことが出来る。

※ここで言う「失敗」とは「理想の結果」ではないことを指す。だから別に「理想の結果」を生まないとしても、確実に「理想」に近づいていることを認識する。

例) 僕の失敗パターン

予定していた時間に起きなかった場合、一日のスケジュールが狂ってしまうので嫌気がさす。それがタスクに影響する。余計な感情がわいたりセルフイメージが下がったりしてどこか集中できない。

研究者のように仮説検証をする

簡単なことだけど、まずは「失敗するパターン」を言語化できることが大切。

で、それを変えるためには・・・

- 過去の記憶の領域＝安心・安全
 - でも、今は理想の状態ではない
- } ⇒両輪を認識することが重要

じゃあ、理想の未来を手にするためには「過去の延長線上」ではいけない。
今何かを変える必要がある。

例) 僕の失敗パターン

予定していた時間に起きなかった場合、一日のスケジュールが狂ってしまうので嫌気がさす。それがタスクに影響する。余計な感情がわいたりセルフイメージが下がったりしてどこか集中できない。

⇒回避するために・・・

夜作業をし過ぎないで、ちゃんと決まった時間に寝る。

研究者のように仮説検証をする

もう1つ重要なポイントは・・・

「やる」よりも、むしろ「やらない」を選別する。

さっきの僕の例だと、夜遅くまでタスクを「やらない」。

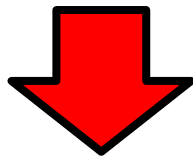
理想の未来を手にするためには、何か新しいことを加算しなければいけないと思う人が多いんですが、引くという思考が重要。

情報やものが溢れまくっている今の時代、そこには「圧倒的な無駄」が多い。

それを引いていくだけでも、他の大多数の人とはかなりの差別化が出来る。

プロのアスリートのようにタスクをこなす

じゃあ、無駄を引いて過去の延長線上から抜け出すために仮説検証するには・・・？



5つのステージを理解する

1 思考空間と物理空間を整理整頓する

- ・この世界のほとんどが無駄で出来ていることを認識する
- ・惰性で行なっている習慣をやめる
- ・判断基準は3年後の自分を想像した時にどうなっているかを考えること

2 感情面のエラーを認識して信じる力を上げる

- ・自分への理解度を上げて、他者との違いを認識する
- ・自己受容、他者信頼、他者貢献
- ・オーディオ学習によって既に結果を出している人の空気感を獲得する

3 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

- ・行動の最大の報酬は次の行動の選択肢が狭まること
- ・失敗の扱い方を正しく認識し、楽観的な現実主義になる

4 100万回思考で参入するジャンルを決める

- ・実績がなくても、「これからのあなた」は今から作り上げられる
- ・ゴールはセールスじゃないことを認識する
- ・100人組み手ではなく、1人を相手にしてコミュニケーションをする

5 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパクリ

- ・新しいものは「0」から生み出されない
- ・人は感情で行動を起こし、理屈でそれを正当化することを認識する
- ・過去の賢者を信じてパクリ、数字を見て観察し修正する

ステージ1: 思考空間と物理空間を整理整頓する

- ・この世界のほとんどが無駄で出来ていることを認識する
- ・惰性で行なっている習慣をやめる
- ・判断基準は3年後の自分を想像した時にどうなっているかを考えること

テーマは「本能」。

SEXとかステータスとか、食事、睡眠という刺激には抗えない。

あとは闘争と逃走・・・攻撃的になるのか逃げるのか。過去、命を守るためにはこの2択しかなかった。

それが先祖から受け継がれて生きたものすごい濃い、深い部分のDNAに刻み込まれている。

最も影響力が強い部分なので、この本能を上手くケアして上げないと集中したタスク管理は出来ない。

ステージ1: 思考空間と物理空間を整理整頓する

だからまずは「引く」。

あらゆる刺激が本能を呼び覚ますので、まずは環境から整えていく。

本能を目標達成に利用するという思考。

あらゆる思考やものがあるだけで選択肢疲れを起こす。僕たちは意志を決定づける選択にとつもない脳のエネルギーを使う。

無意識に意思を決定づけている。その回数は食事で言うと1日に200回以上という研究結果がある。

疲れてしまうと、本能に流されてしまう。

例) エロ動画見よう、疲れたからYouTube見てからタスクをしよう、身体が限界来てるから寝よう、これはアイツのせい……

命を守るには本能を発動させることが最もエネルギーがかからない。**脳で意志を選択しようと思うと最もエネルギー消費量大きい。**

ステージ1: 思考空間と物理空間を整理整頓する

思考空間の整理整頓
物理空間の整理整頓



自分自身の棚卸し

- 余計なことで選択肢疲れを起こさないようにする
- 自分への理解を深める

3年後の自分を想像した時に「理想の未来」を得られないと感じるのであれば、それは不必要なもの。

入社祝いに購入したロレックスの腕時計だって、別にネットビジネスで成功するためには必要ではない。

まずは必要ではないものをそぎ落とす。それをせずに理想の未来を得ることは出来ない。

ものや情報は過去の延長線上の記憶を呼び起こす。本能が目覚める。

ステージ2:感情面のエラーを認識して信じる力を上げる

- ・自分への理解度を上げて、他者との違いを認識する
- ・自己受容、他者信頼、他者貢献
- ・オーディオ学習によって既に結果を出している人の空気感を獲得する

感情に振り回されずに生きていく。

多くの人が感情に振り回され、感情面のエラーを克服できずに**継続が出来ない**。

感情面のエラーを克服するにはどうすれば良いのかと言うと・・・まず自分の理解度を上げる。

⇒ステージ1の自分自身の棚卸しを済ませる

「3年後」という長期的な視野でとらえる...研究者という視点で自分を見れる

本能が騒ぎ出さないようにする

自分の失敗パターンを知る

ステージ2:感情面のエラーを認識して信じる力を上げる

そして自分を受け入れる(自己受容)。

アドラー心理学では自己受容が出来ると、他者信頼が出来るようになる。

つまりこの段階を経て、ようやくノウハウやコンサルというものを信頼できるようになる。多くの人がこのステージ2に到達していないので、ノウハウやコンサルを信じ切れない(もちろんクソみたいなノウハウや塾もあるけど)。その結果、挫折をする。**継続が出来ない。**

「継続は力なり」という言葉があるくらい、継続力と言うのはものすごい大きな力。それが出来るだけで他の大勢とは段違いのステージへ行ける。

特にネットビジネスは継続さえ出来れば7桁稼ぐのは難しくない。だって皆辞めていくからね。僕たちは辞めていく9割ではなく、勇気をもって前に進んでいく1割になる必要がある。

ステージ3: 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

- ・行動の最大の報酬は次の行動の選択肢が狭まること
- ・失敗の扱い方を正しく認識し、楽観的な現実主義になる

進むべき方向性を示して生きていく。

お化けは怖い。貞子も怖い。怖い理由は「見えないから」。

同じように新しいことにチャレンジをする時も怖い。怖い理由は「先が見通せないから」。

見えない、分からないことに人間は恐怖を抱く。

だからこそ、僕たちはすべてを見通した状態にして前に進んでいく。だから勇気が持てる。だから失敗しても何度もチャレンジが出来る。

ステージ3: 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

自分のルールをもって毎日を生きる。

これが自営やビジネスをしていくことを目指す僕たちの生き方。

「自由」というのは同時に規律がある。会社を辞めて自営で生きている人をうらやましく思うかもしれないけど、全ての時間を自分でコントロールしなければいけない。情性で過ごしたら全てが終わる。

だから、全てを見える化して自分のルールを順守した毎日を過ごす。前のめりに。勇気をもって。

ステージ3: 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

そして、もう1つ重要なポイントは「失敗」と上手に付き合うということ。

たくさん努力をしても「理想の結果」を手にすることが出来ないことは普通にある。それを「失敗」と呼ぶけど、次に行動を起こす際には同じことをしなければいいというアドバンテージができる。

どんどん「理想の結果」に近づいているというイメージ。

そのイメージを持てると行動を起こす際に勇気が持てる。前に進める。「失敗」によってセルフイメージが下がらない。

これが楽観的な現実主義。

何が起きたって楽しく、かつ現実を見つめながら前に進める。最強の姿。

ステージ4: 100万回思考で参入するジャンルを決める

- ・実績がなくても、「これからのあなた」は今から作り上げられる
- ・ゴールはセールスじゃないことを認識する
- ・100人組み手ではなく、1人を相手にしてコミュニケーションをする

長期的視野でビジネスを決定する

- 今1億円手に入れることが出来る宝くじを手に入れる
- 来年から1億円の年収を手に入れることが出来る方法を勉強する
- ・・・どっちが良いですかって話。

ネットビジネスをする多くの人が短期的な一発逆転思考で取り組む。その結果「稼ぎやすさ」を優先してジャンルを決める。でも現実はずまらなくしんどいから挫折をしていく。

だから僕たちは100万回繰り返す前提でジャンルを決める。

ステージ4: 100万回思考で参入するジャンルを決める

100万回繰り返す前提でジャンルを選択する場合、その覚悟を決めた背中が読者に伝わる。熱量、パッション…これが**信頼**につながる。

そして人生が乗った発信が出来るので**オリジナリティ**が出る。経験とか体験が情報発信になる。その他大勢の情報発信と差がないのは存在価値が無い情報になってしまう。**あなたが発信した情報を受け取る意味がないから。**

そしてもう一つ。100万回繰り返す前提でビジネスを行うと、「セールスをしてはい終わり！」ではなくなる。

セールスをして終わりではなく、あなたが人生をかけた発信した情報に共感してくれた人と関係を深くしていくという視点になる(コンサルとかコミュニティとか)…で、これがファンと呼ばれる層。何度もセールスが出来るファン。あなたが発信したもののならば喉から手が出るほど欲しいと思う。

ステージ4: 100万回思考で参入するジャンルを決める

じゃあ、そんな人間関係を構築するためにどうすれば良いのかと言うと・・・
不特定多数の大勢に対して情報を発信するのではなく、1人の人を相手に情報発信をする。

1人の人と深い関係を構築できなければ、大勢の人と関係を構築できない。
1人の人にセールスをしたことがなければ、大勢の人にセールスが出来ない。

100人組み手ではなく、1人を相手にしてコミュニケーションをするイメージ。
当たり前ですよ。でも、いきなり不特定多数の人に対してセールスをかけるランディングページとかを書け！というのが今のネットビジネス業界。

どんだけ無茶をしているのかを理解してください。

ステージ5: 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパク る

- ・新しいものは「0」から生み出されない
- ・人は感情で行動を起こし、理屈でそれを正当化することを認識する
- ・過去の賢者を信じてパクリ、数字を見て観察し修正する

今まで僕たちが何を積み上げたのかというと・・・

ステージ1で自分の棚卸し「思考空間と物理空間の整理整頓」

ステージ2で自分を受け入れて他者を信頼する「感情面のエラーを克服して継続する」

ステージ3で楽観的な現実主義者となり前に進む勇気を持つ「思考とタスクの見える化」

ステージ4で長期的視野でビジネスに取り組む「100万回繰り返す前提でジャンルを決め、継続性・オリジナリティ・深い人間関係の構築」

僕たちは既に長期的視野で物事を捉え、あなたが得たい未来を手に行っている成功者の方法を信頼して扱うことが出来る。

ステージ5: 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパク る

自分の主観で生きるよりも、既に成功した人の思考と方法で生きた方が遥かに早い。
「自分のアドリブ VS 過去の賢者が残した検証済みのデータ」だったら、どちらが期待値
が高いですかって話です。

多くの人が、なぜか結果を出してもいないのに自分のアドリブを信じてしまう。勝手にア
レンジをしてしまう。その理由こそが「他者を信頼出来ないから」。

僕たちはステージ4までやってきて「状態」を整えてきた。いきなり不特定多数の人を相
手にする無茶なビジネスをしない「思考」で取り組むことが出来る。

その上で僕たちがすべきことは「期待値が高い行動・作業をする」ということ。検証済み
のデータや情報があればがんがんそれをやる。で、仮説検証をする。既に期待値が高
いモノをさらに純度を高めていく。

ステージ5: 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパク る

さらに僕たちはその期待値が高いものを利用するだけではなく、仮説検証をする純度も高めていく。そのために数字やデータを積極的に利用する。

過去の賢者 + 数字やデータで修正 + あなた自身の情熱

これを揃えていくのが5つのステージです。

さらに高いレベルで実践が出来る方法も僕のコンテンツの中ではお話ししています。よりプロのアスリートのように濃縮した時間を過ごすにはどうしたらいいのかとか、メルマガはどうしたらいいのかとか、どうやって情報を整理整頓すればいいのかとか。でも、まずは「状態」を整えるために5つのステージを理解してください。

1 思考空間と物理空間を整理整頓する

- ・この世界のほとんどが無駄で出来ていることを認識する
- ・惰性で行なっている習慣をやめる
- ・判断基準は3年後の自分を想像した時にどうなっているかを考えること

2 感情面のエラーを認識して信じる力を上げる

- ・自分への理解度を上げて、他者との違いを認識する
- ・自己受容、他者信頼、他者貢献
- ・オーディオ学習によって既に結果を出している人の空気感を獲得する

3 思考の見える化、タスクの見える化をして、新しい旅に出る勇気を持つ

- ・行動の最大の報酬は次の行動の選択肢が狭まること
- ・失敗の扱い方を正しく認識し、楽観的な現実主義になる

4 100万回思考で参入するジャンルを決める

- ・実績がなくても、「これからのあなた」は今から作り上げられる
- ・ゴールはセールスじゃないことを認識する
- ・100人組み手ではなく、1人を相手にしてコミュニケーションをする

5 自分のアドリブで決定せず、過去の賢者をパクリ

- ・新しいものは「0」から生み出されない
- ・人は感情で行動を起こし、理屈でそれを正当化することを認識する
- ・過去の賢者を信じてパクリ、数字を見て観察し修正する

ありがとうございました。